

【音楽】 パソコンなどで、見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

＜勉強すること＞



◆歌詞の内容やせんりつか し ないようのまとまりを生かして、『ゆりかごの歌』と『どこかで春が』を歌いましょう。（教科書 70～71 ページ）

※参考音源 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou3.html

- (1) 教科書 70 ページを見て、『ゆりかごの歌』の歌詞を声に出して読みましょう。歌詞の言葉から様子を思いうかべましょう。
※1～4番で、登場するものが変わります。その様子に着目しながら、想像をふくらませましょう。
- (2) 様子を思いうかべながら『ゆりかごの歌』をきいたり、口ずさんだりしましょう。
※せんりつか しの流れやまとまりをつかみましょう。
※右上 QR コードから範唱はんしょうをきくことができます。
- (3) 教科書 71 ページを見て、『どこかで春が』の歌詞を声に出して読みましょう。歌詞の言葉から様子を思いうかべましょう。
※歌詞を読みながら、聞こえてくる音を想像しましょう。「水の音」「鳥の声」「めの出る音」「風の音」などがあります。
- (4) 様子を思いうかべながら『どこかで春が』をきいたり、口ずさんだりしましょう。
※せんりつか しの流れやまとまりをつかみましょう。
※右上 QR コードから範唱はんしょうをきくことができます。
- (5) 『ゆりかごの歌』と『どこかで春が』の歌詞の内容やせんりつか し ないようのまとまりにふさわしい歌い方を考えて歌いましょう。
※思いうかべた様子に合う歌い方を工夫しましょう。
※教科書に考えた工夫を書きこんで、歌ってためてみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・『ゆりかごの歌』は、1～4番で登場するものが変わりますが、どれもゆりかごを見守る優しさがあります。教科書の挿絵を参考にしながら、その“優しさ”に気付かせ、歌い方に生かせるようにします。
- ・『どこかで春が』は、春を待つ歌です。身の回りの自然に目を向けて、春の訪れを感じるなど、春を待つ楽しみな気持ちが歌に表れるようにするとよいです。
- ・これで3年生の学習は終わりです。教科書には、『春の小川』『茶つみ』『うさぎ』『ふじ山』など、日本の季節や自然を感じられる歌唱教材がたくさんあります。1年間を振り返りながら、それぞれの曲を歌ってみるのもおすすめです。